

# 課題解決に向けた行動計画

広島県 県立広島病院

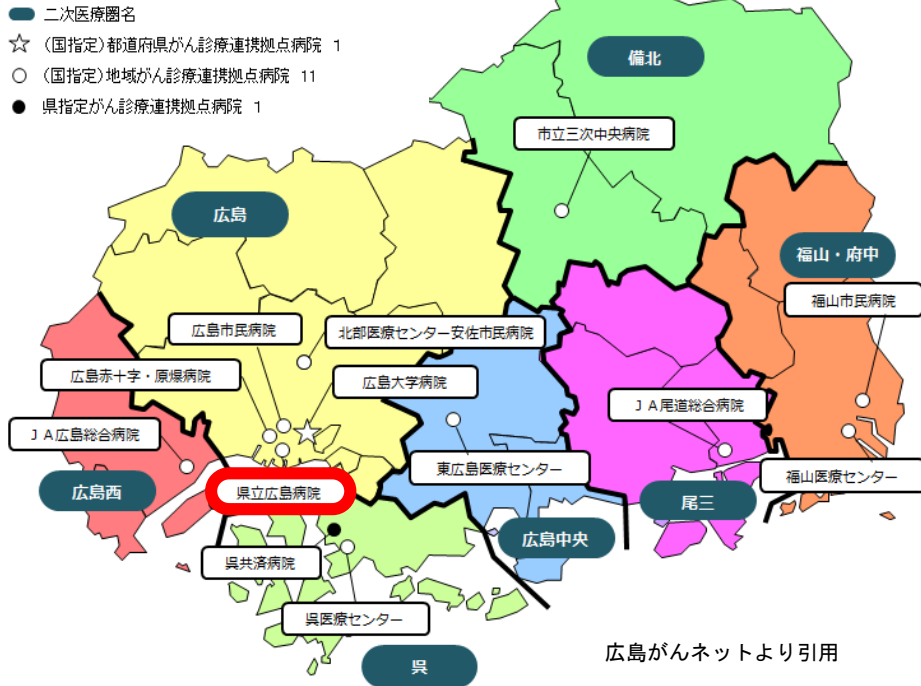
2023年度  
第2回地域緩和ケア連携調整員研修（ベーシックコース）

## 【チームメンバー】

参加施設・所属	氏名（職種）
県立広島病院 入退院支援室	原田 雅子（看護師 入退院支援室長）
県立広島病院 入退院支援室	田中 透（MSW）
県立広島病院 緩和ケアチーム	前河内 里奈（看護師）
県立広島病院 地域連携室 がん相談支援センター	橋本 美千代（看護師）
県立広島病院 地域連携室 がん相談支援センター	迎川 ゆき（看護師）

# 県立広島病院

がん診療連携拠点病院配置図（令和5年4月～）



広島がんネットより引用

R4年度調査

病床数	712人
緩和ケア病棟	あり
新入院者数	5259人
新入院がん患者数	1573人
平均在院日数	9.8日
外来がん患者延べ数	66011人

## ①地域の課題(まとめ)

### 1 終活・ACPが不十分

- ・ 医師会などでACPの普及活動をされているが、施設間の共有の実態は不明。
- ・ 当院から地域医療機関や訪問看護等へ紹介する場合、終末期の意向に関する情報提供ができていない。

### 2 地域の医療資源ツールの共有ができていない

- ・ 地域医療機関の対応可能範囲を把握するツールがない、担当者が各々問い合わせをしており調整に時間を要す。

### 3 緊急緩和ケア病床、バックベッドが不足

- ・ 急性期病院で療養目的のみでの入院が基本的には困難。

②どのような地域を目指すのか

患者家族が望む場所で過ごすことができる

### ③課題ごとに取り組むべきことは何か

- 1 終末期の意向（ACP）について地域と共有できる方法の検討
- 2 地域の医療資源ツールが共有できる
- 3 緊急緩和ケア病床、バックベッド対策

## ④具体的な行動計画⑤実施時期

課題	誰が	何を	どのように	いつまでに
1. 終末期の意向（ACP）を地域で共有	県立広島病院	多施設で共有できるシートを作成する。（がん終末期の意向を含めた）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の資料検索</li> <li>・共有シートの作成</li> <li>・院内電子カルテ登録</li> <li>・院内周知</li> </ul>	年度内
2. 地域の医療資源ツールの共有	県立広島病院	既存のツールの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存のツールについて、追加項目を提案。（地域全体でも活用しやすいよう県・市等で提供されているものを活用）</li> <li>・スタッフへ周知。</li> </ul>	年度内
3. 緊急緩和ケア病床、バックベッド対策	県立広島病院	地域医療機関へ向けた研修会の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緩和ケア研修、地域対象の研修の企画</li> </ul>	次年度